

コード	40203
作成年度	26年度

基本事業評価表

基本事業名称	農業生産性の向上
--------	----------

総合計画の位置付け	
政策名称	自立する産業の育成、雇用の確保
施策名称	農林業の振興

課コード	115	関係課名
主管課名	農林課	

基本事業の目的

地場製品の生産強化を図り、安全で安心な地元の農産物を地元で消費する「地産地消」の振興を図るとともに、給食センターなどの大口消費先と連携する等、安定供給に努める。また、農作物被害の予防のため有害鳥獣を捕獲するとともに、その有効利用を図ることを目的とする。

基本事業の成果

成果指標名称 1	地産地消（販売農家）	成果指標名称 2	
成果指標の積算根拠	販売農家戸数÷目標販売農家戸数	成果指標の積算根拠	
目標達成年度	平成26年度	目標達成年度	
目標達成数値	200戸	目標達成数値	

年		度		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
成果指標 1	目標 A	単位	戸	200	200	200	200	200
	実績 B		戸	180	193	195	193	-
	達成率 B/A		%	90.0	96.5	97.5	96.5	
成果指標 2	目標 A	単位						
	実績 B						-	
	達成率 B/A		%					

1次評価	現状	島内農産物として、直売所を利用した「トマト、キュウリ、イチゴ、アスパラガス」の栽培技術の向上、また、旬を大切にしたいその季節における露地物の食べ方等を生活研究グループがメル・カカピイを中心として実施している。さらに、給食センターとの連携については、学校給食センター運営委員会のメンバーも参加し、利用者、保護者、運営者の意見を聞きながら対応できる施策を模索している。
	課題	安全・安心は容易にはできない。生産者は消費者の立場に立って地産地消の確立を目指さなければならない。
	改善	安全安心は、安いものより大切であることの普及啓発と、大口消費者に対する出荷調整ができる体制づくりと施設整備が必要である。また、生産組織への栽培講習会・現地指導を通じ「農薬の安全使用」、「生産履歴の記帳」についても指導を行う。
2次評価	農業者の所得が向上し、安定した経営を図るため、農産物の高付加価値化や6次産業化の推進、経営の協業化などの生産組織の体制に向けた情報提供や支援、育成に努めること。また、農産物を地域内に普及させ、地場産への理解を深めてもらうとともに、生産者や消費者、小売店、飲食店などが相互交流できるような地産地消の振興に向け関係団体と連携して取り組んでいくこと。	
3次評価 住民等の意見		
町の対応		

※3次評価は、住民等の意見があった場合にのみ、再度公表するものとする。

◆基本事業を構成する評価対象事業◆

番号	評価コード	評価対象事業名称	担当課	平成25年度 直接事業費	評価の方向性
1	402030101	近代化施設整備補助事業	農林課	2,657千円	(途中) 事業内容を見直して継続
2	402030201	農産物出荷奨励補助事業	農林課	570千円	(途中) このまま事業を継続
3	402030401	生産組織活動助成補助事業	農林課	440千円	(途中) 事業内容を見直して継続
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
基本事業を構成する評価対象事業の合計事業費				3,667千円	